

市政刷新

2013年 秋 号
発行者／福岡市議会議員 調崇史（民主・市民クラブ）



9月議会では一般質問に登壇し保育行政に関して当局を追及しました。
「市民の理解が得られない事業や施策については、怯まずに追及する。
正論で動く議員でありたいと思います。」

福岡市議会議員
調たかし

すぐ動く！よく働く！
福岡市議会議員（城南区）調たかし

議会活動！徹底追及！中央保育園の移転問題

■ 拭えない「土地ありき」の疑念

中央保育園の移転問題を巡っては、移転用地の周辺環境の是非や、移転用地の選定に至るプロセスに多くの疑問があることが繰り返しメディアにもとりあげられてきました。7月には移転に反対する保護者会が、移転事業が「土地ありき」で進められたのは不当であるなどとして、移転用地の取得のために市が支出したおよそ9億円の公金の返還を求めて住民監査請求。有識者や市議会議員からなる市の監査委員会は、公金の返還については棄却したものの「土地ありきとの疑念はぬぐえなかった」などとする報告書をまとめました。

9月議会の一般質問では移転用地選定のプロセスが「限りなく黒に近いグレー」と判定されたことを受け、第三者委員会による検証を要求。議会の理解が得られていないと高島市長を追及しましたが、市長は検証の可否については答弁を避けました。

■ 中央保育園移転予定地

■ 本当にゼロになる!? 26年度当初の待機児童

福岡市の高島市長は今年度予算の発表にあたって、平成26年度当初の待機児童をゼロにすることを宣言しました。今年度は新たに1900人分の保育所を整備するなどの取り組みが進んでいます。一方で、福岡市の保育行政を巡っては中央保育園や西区の新設予定の保育園などでラブホテルやパチンコ店の近隣に保育所整備が進んでいるように、風営法の趣旨に照らして脱法的とも言える整備手法を当局が容認しており、取り組みの進め方には疑念を持たざるを得ませんでした。

9月議会の質問では、本当に平成26年度当初の待機児童はゼロになるのか、その目標に向かって福岡市が進めている保育所整備が適正なのかを確かめるために、①各区分の保育所整備の状況②各区分の待機児童数③待機児童の年齢別の構成などを問いました。



■ 問われるのは「こども病院移転の検証」との整合性

高島市長は平成22年12月の就任直後に自ら主導して、こども病院のアイランドシティへの移転の是非について第3者委員会による検証を行い、「市民の納得と共感」が得られるよう「議論の過程をオープンにする」などと自らの信条として語っていました。しかし、今回の中央保育園の移転問題では、監査委員会からグレー判定を受けるという異例の事態を招いたにも関わらず、検証を求める議会からの度重なる指摘に耳を貸そうとしません。一貫性のなさに首をかしげたくります。

この移転用地を巡っては政治家の関与が取り沙汰されています。移転事業のグレーな部分を誰もが認識しながら、市長・議会ともに放置するのであれば、それこそ市民への背信行為です。公開の議場での追及を続けたいと思います。



■ 毎日新聞 9月18日朝刊

■ 数合わせの待機児童ゼロでは話にならない

質問で明らかになったのは、区別の保育所整備数と待機児童数に不均衡があるということです。例えば城南区では今年度当初の待機児童数が28人だったのに対し、保育所の整備数が240人分。西区では84人に対し500人分であり整備数にかなり余裕があるのに比べて、東区では待機児童数143人に対して整備が50人分にとどまり(9月1日現在)、単純な比較では到底足りていません。また福岡市の待機児童はほぼ8割が3歳未満児ですが、今年度整備される保育所の3歳未満児枠は5割強であり、これも需要に追いついていません。

端的に言う待機児童は行政が保育所を1つも勧めることができなかった児童の数なので、整備さえすれば数合わせで数字を減らすことが可能です。しかし、数合わせでは親御さんたちの悩みは解決しません。今後の取り組みをしっかりと監視する必要があります。



地域活動！

花みずき通り商店会情報誌「Mizuki」創刊号
インターンの学生が頑張りました！

城南学園通りの茶山から七隈四つ角エリアの商店や事業所が作る「花みずき通り商店会」が、この秋に情報誌をリニューアルし「Mizuki」を創刊するのにあたって、花みずき通り商店会のインターンの学生2人が夏休み期間を通じてフル回転の頑張りを見せました。

九州大学工学部2年の山口修平さんと、九州大学理学部2年の瀬尾仁美さんは、会員店舗に対する取材日時、取材内容の打ち合わせ、掲載内容の提案をはじめ、ゲラの確認のための持ち回りなどあらゆる作業をこなしてくれました。また、会員以外の店舗に対しても、「Mizuki」への情報掲載をきっかけに商店会に加盟して頂けるよう、飛び込みの営業活動に取り組んでくれました。

商店会の多くの方々の協力と指導を頂いてインターンを終えた2人。ひと夏の努力が今後の生活の糧となることを願います。



「Mizuki」のお役立ち情報

新しい情報誌には、七隈駅・金山駅の駅時刻表をはじめ、商店会近隣のバス停毎に路線バスの接近情報を知ることができるQRコードを掲載しています。また、城南区内の公共施設の所在地や電話番号も。冊子は商店会の各店舗はもちろん、城南区役所、七隈・金山公民館にも置かれています。

なお、会員店舗の取材では、福岡大学・中村学園大学の学祭実行委員の学生さんたちにモデルとしてご協力を頂きました。



市政報告会を開催します！

市議会議員としての活動も2年半が経過しました。

地域、議会での活動を通じて学んだ市政の課題についてお話をし、かつ地域の皆さまのご意見を頂くために、下記の要領で市政報告会を開催します。

ご家族やご友人とお誘い合わせの上、是非ご参加下さい！

金山公民館

H25年11月15日(金)
19時00分～20時00分 (18時45分受付)

七隈公民館

H25年12月6日(金)
19時00分～20時00分 (18時45分受付)



福博そうつく記

福岡市の生活道路が日本一安全に!?

生活道路の空洞調査について、これまで平成24年の9月議会、今年3月の条例予算特別委員会の2回に渡って質問をしました。24年9月の質問では、路面下にできた空洞が原因で道路に陥没が生じ、歩行中や運転中の事故につながっているケースが相次いでいることを指摘して、幹線道路や地下鉄などのインフラ周辺を対象になってきた空洞調査を生活道路にまで広げることを要求。今年3月の質問では、国の防災交付金を活用して、福岡市が生活道路の空洞調査に8300万円もの予算配分を行ったことを高く評価しました。

福岡市は今年度、1000キロメートルの生活道路における空洞調査を実施中。これは全国の自治体がこれまでに取り組んだ生活道路の安全点検としては前例のない規模で、本市の取り組みを参考にしようとする行政の視察が相次いでいるそうです。この問題を本市議会で初めて質問でとりあげたときに、まさかこれほど早い対応がなされるとは思っていませんでした。道路の安全確保のため、国の交付金をしっかり勉強して活用につなげた関係局に、喝采を送りたいと思います。

しらべ たかし

調崇史プロフィール

1978年 4月17日生 35歳

- 1978年 ● 福岡市生まれ
- 1991年 ● 七隈小学校卒業
- 1994年 ● 梅林中学校卒業
- 1997年 ● 修猷館高校卒業
- 2002年 ● 九州大学法学部卒業
- TNCテレビ西日本入社
- 2010年 ● 同社退社
- 2011年 ● 福岡市議選初当選
- 現在、金山団地在住 妻と3女



ツイッター・フェイスブックなどと連動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。
また、オフィシャルサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声を聞かせて下さい！



www.t-shirabe.net/

調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください
〒814-0131
福岡市城南区松山2-5-5
志のぶビル201号

※市営地下鉄 金山駅から徒歩3分
七隈本町バス停から徒歩1分
TEL:092-834-9984
FAX:092-834-9983
mail:info@t-shirabe.net

調たかし

検索